

## 9. 福岡市におけるマーケットバスケット調査方式による食品中の残留農薬の一日摂取量調査（2011）

保健科学課 森川 英俊・中村 正規

佐藤 正雄

平成 24 年度食品衛生研究発表会

福岡市民が食品から摂取している農薬の量を把握するために、平成 23 年度に福岡市内を流通した食品を対象に、マーケットバスケット方式による農薬の一日摂取量調査を実施した。対象農薬は、本市で検出事例の多い農薬等も含め、48 農薬とした。調査試料は、平成 19 年度国民健康・栄養調査（北九州ブロック）」に基づき、福岡市内の食料品店で購入した 168 品目について I～XIV の食品群に分類した後、必要に応じて調理し、調製した。分析方法は通知試験法「GC/MS による農薬等の一斉試験法（農作物）」に準じて行い、農薬の定性・定量には GC-MS/MS を用いた。分析の結果、6 種の群から農薬を検出した。それぞれの農薬の検出値をもとに一日摂取量を算出し、一日摂取許容量 (ADI) と比較したところ、対 ADI 比は 0.0021%～0.12% の範囲であり安全上問題ない量と考えられた。また、農薬が検出された群では、どの食品由来か個別分析を行ったところ、基準値を超過するものはなかった。